

SBT認定企業 野村ユニソン 主力工場を「再エネ100%工場」に

最新鋭の諏訪南工場が、長野県の豊富な水資源に由来する「信州Greenでんき」の導入により、「再エネ100%工場」となります。更に、本社工場にもCO2フリー電力を導入することで中小企業版SBT認定企業としてその削減目標達成に向け大きく前進しました。

※「諏訪南工場」の詳細

<https://www.nomura-g.co.jp/news/2024.01.16>

※「SBT認定取得」の詳細

<https://www.nomura-g.co.jp/news/2023.12.07>

※「信州Greenでんき」の詳細

https://miraiz.chuden.co.jp/business/electric/menu/co2_free/shinsyu/index.html



野村ユニソン株式会社（代表取締役社長 野村高城、茅野市ちの650）は、2024年6月より、諏訪南工場（茅野市金沢3410-1）に長野県の豊富な水資源に由来する中部電力ミライズ株式会社のCO2フリー電力「信州Greenでんき」を全量導入し、再生可能エネルギーの地産地消拡大を支援します。

本導入によりオール電化の同工場は「再エネ100%工場」となります。また同時に、全社で最も電力使用量が多い本社鍛造工場にも水力および太陽光発電由来の環境価値（非FIT非化石証書）を活用したCO2フリー電力を導入し全社使用電力の約25%をCO2フリー化することで、中小企業版SBT認定企業として排出削減目標（2030年に2018年比△50%）の達成に向け大きく前進*しました。

注）前進*：想定される排出削減効果は、SBTが定めるScope1&Scope2の年間削減目標である年4.2%を大きく上回る年15%です

弊社は、10年ビジョンとして掲げるNUビジョン2033「UNISONブランドでともに幸せをつくるパートナーとなります」の実現に向け、社会の持続可能性に資する「サステナビリティ経営方針」上の重要課題（マテリアリティ）の一つである「脱炭素社会への貢献」に全社一丸となって取り組んでおり、CO2フリー電力導入はその一環です。今後も以下を重点に更に取り組みを強化していきます。

- ・ 全社横断ゼロカーボン推進委員会の設置（済）
- ・ 資源エネルギー庁指定特定事業者としての対応継続・強化（2013年～）
- ・ 温室効果ガス排出量算定システムの運用（開始済）
- ・ 国の補助事業である「省エネ診断・支援」による省エネ施策の立案・実行（診断済）
- ・ 再生可能（非化石）エネルギー（燃料・電気）の利用拡大
- ・ LPガス燃焼型装置の電化+グリーン電気の利用
- ・ 自動化（独自技術活用）による生産効率向上・省エネ化
- ・ グリーン調達を導入・拡大（Scope3）
- ・ 水素等の次世代燃料型装置の導入開発、他

2024年5月29日
野村ユニソン株式会社

弊社のお客様、特にプライム上場企業様にとって課題となってきた Scope 3 を含むサプライチェーンの脱炭素化においては、弊社のように部品・装置の供給を担う中小企業にも排出量の正確な把握及びその削減が求められ、更に今後カーボンプライシング（炭素税、排出量取引等）の導入を機にその要求が高まると見られています。弊社は CDP（企業などの気候変動や温室効果ガス排出削減に向けた戦略や取り組みを評価・情報開示する国際環境 NGO）で「C」スコアを取得しており、お客様の削減要求に確かな実績データで応えることを目指し活動しています。



【お問い合わせ先】

住所 : 〒391-0001 長野県茅野市ちの650
電話 : 0266-72-6151 (代)
メール : info@nomura-g.co.jp

◆サステナビリティへの取り組みについては弊社 Web サイトにてご紹介しています。

※「サステナビリティへの取り組み」の詳細
<https://www.nomura-g.co.jp/sustainability>

※「温室効果ガス削減目標と進捗」の詳細
<https://www.nomura-g.co.jp/sustainability/sbt>

◆脱炭素社会への貢献の一つとして「長野県グリーンボンドへの投資」を行なっております。